

# オーバルネクストETF情報

2011年2月14日号



**TEL 03(5641)5777**

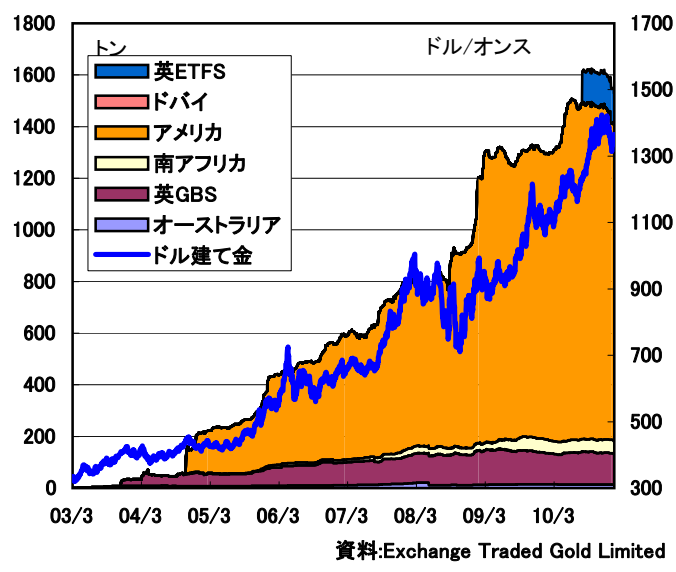
(株) オーバルネクスト  
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中  
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

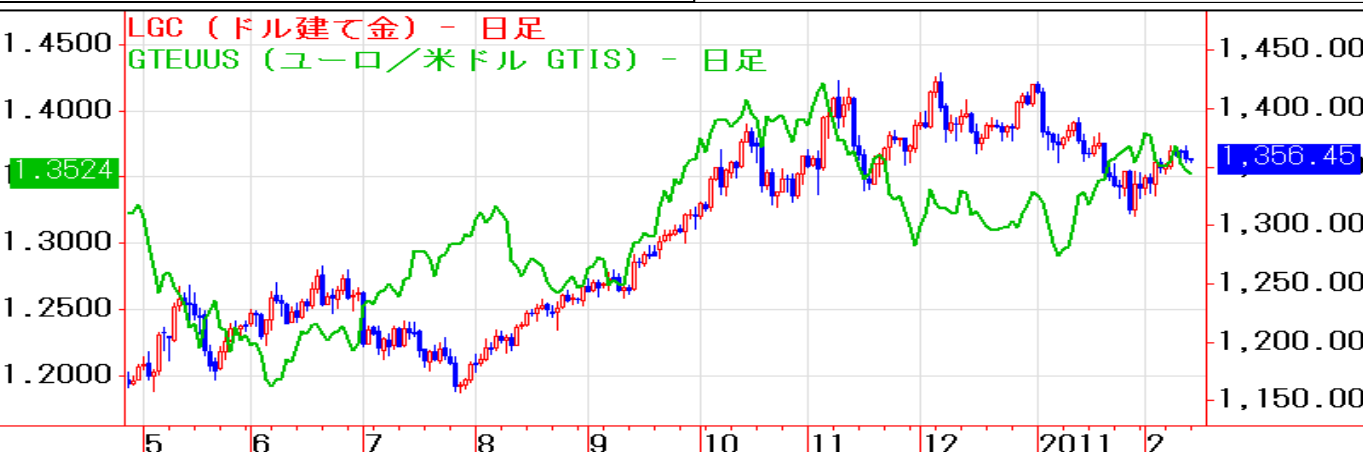
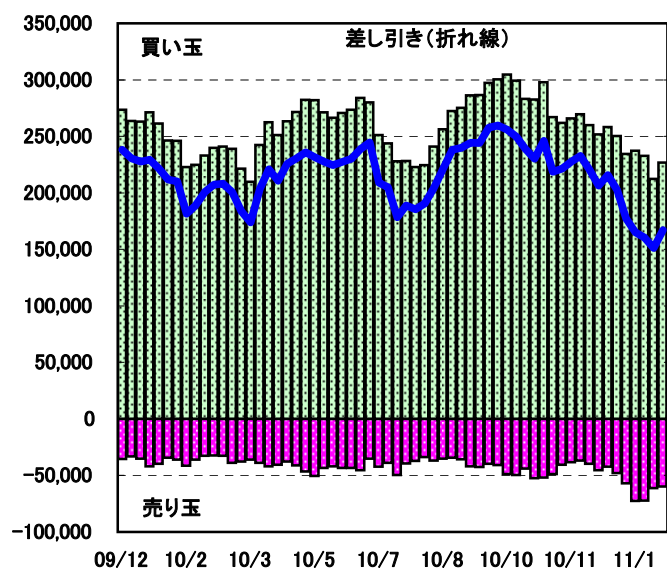
## ETF残高減、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



### ■米景気回復期待で投資資金流出

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、2月8日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは16万7,093枚となり、前週の15万1,194枚から拡大した。前週は2009年5月19日以来の低水準となったが、売りが一巡した。今回は新規買いが1万4,534枚、買い戻しが1,365枚入り、買い越しを1万5,899枚拡大した。一方、11日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比3.34トン減の1225.53トンとなった。中国の利上げで世界的なインフレ懸念も出たが、米景気回復期待などを背景としたポートフォリオ組み替えて売られた。

ドル建て現物相場は、2010年12月7日に史上最高値1430.09ドルを付けた。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎えた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎え、1月28日に昨年10月1日以来の安値1308.12ドルを付けた。2月に入ると、エジプトの政情不安や世界的なインフレ懸念を受けて上昇したが、エジプトのムバラク大統領が辞任し、情勢安定化との見方が広がると、上げ一服となった。

中国の利上げで世界的なインフレ警戒感が出た。これまで利上げはリスク回避の動きを促していたが、食料価格上昇でインフレ警戒感が高まっており、金の支援要因となった。一方、ムバラク大統領辞任でエジプト情勢は安定化した。ただチュニジア・エジプトの改革が今後、中東諸国に波及する可能性もあり、中東の行方を確認したい。米国ではダウ平均株価が2008年6月以来の高値を付け、景気回復期待が高まった。今週は1月の米小売売上高や米住宅着工件数などの発表があり、個人消費や住宅市場の動向が焦点である。

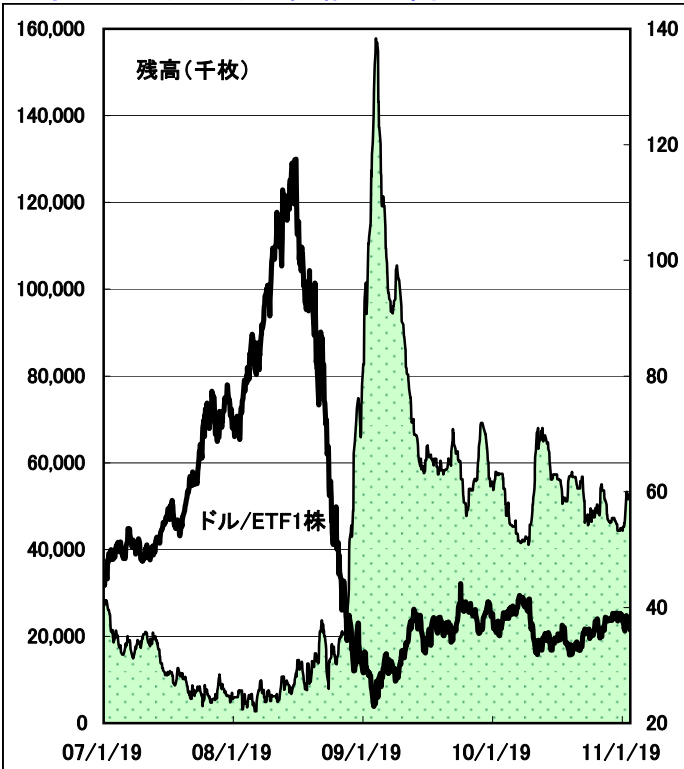
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月14日記)

### <免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

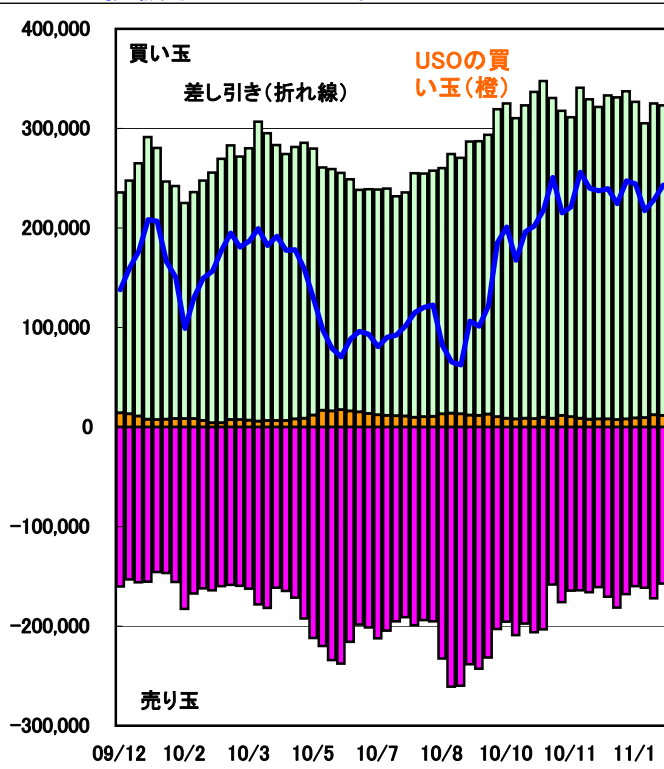
## ETF残高増加、NY先物買いも拡大

### ●原油ETF(USO)の価格と残高



### ●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



### ■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は2月11日時点で5,290万株となり、前週末比130万株増加した。ニューヨーク原油は国の利上げやムバラク大統領辞任によるドル高などをを受けて軟調となった。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は11日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で1万1,537枚(前週末比151枚増)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,073枚(同221枚減)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、2月8日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は32万3,090枚(前週32万4,925枚)、売り玉は15万7,582枚(同17万2,216枚)で16万5,508枚の買い越しとなり、前週の15万2,709枚の買い越しから1万2,799枚買い越し幅を拡大した。USOの買い玉は大口投機家の3.6%(同3.7%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万9,202枚(同6万6,115枚)、売り玉は1万8,173枚(同1万3,692枚)で4万1,029枚買い越し(同5万2,423枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の14.0%(同12.5%)を占めている。

### 【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/2/7	36.66	10,935,068	51,600	11,386	2,000	8,294	11/3
11/2/8	36.64	17,346,687	52,000	11,554	2,000	8,294	11/3
11/2/9	36.50	10,214,349	52,900	8,948	1,500	6,220	11/3
				2,856	500	2,000	11/4
11/2/10	36.54	13,455,867	52,900	5,965	1,000	4,146	11/3
				5,696	1,000	4,000	11/4
11/2/11	36.05	14,716,814	52,900	2,978	500	2,073	11/3
				8,559	1,500	6,000	11/4

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

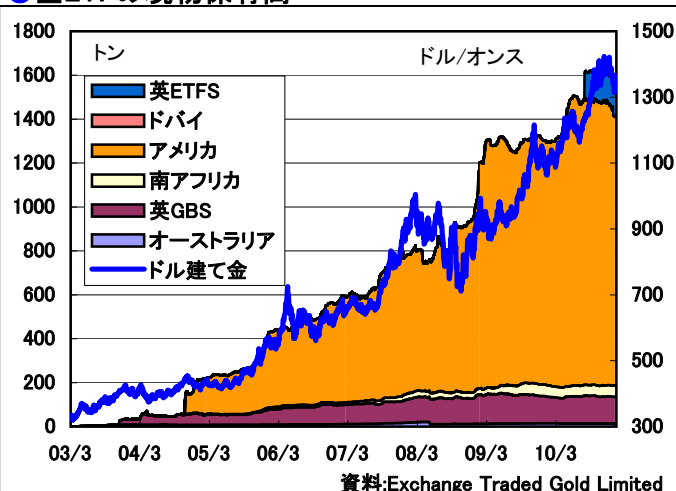
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月14日記)

### <免責事項>

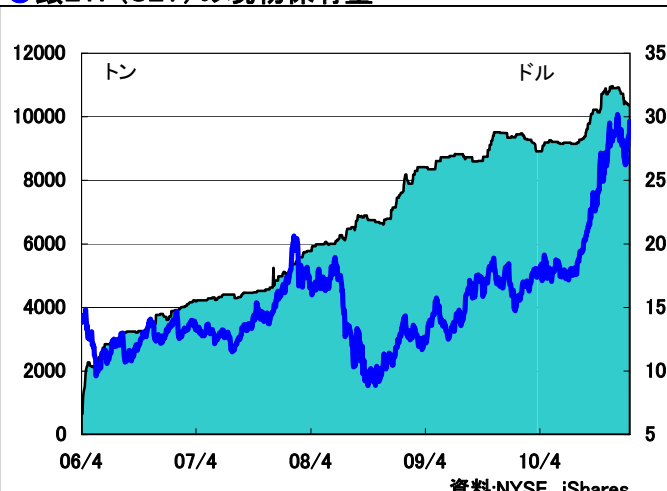
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

NYの金ETFの現物保有高は戻り場面で減少

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、2月9日時点で1546.91トンとなり、前週末比2.43トン減少した。ニューヨークで減少した。米国の景気回復期待などを背景に売りが出やすくなっている。ただ中国の利上げをきっかけに世界的なインフレ懸念も台頭し、インフレ・ヘッジとして買われる可能性も出てきた。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比横ばいの1万0370.22トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が同27.41トン減の893.66トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同横ばいの504.65トンとなった。米国の景気回復期待で工業用需要の増加が見込めるが、リスク選好の動きで株式市場への投資資金のシフトが起きやすい。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/02/03	14.21	121.34	134.41	50.36	1229.28	0.15	1549.75	1,354.74
11/02/04	14.21	121.34	134.41	50.36	1228.86	0.15	1549.34	1,349.35
11/02/07	14.21	121.34	134.41	50.36	1228.86	0.15	1549.34	1,352.30
11/02/08	14.21	121.34	134.41	50.36	1228.56	0.15	1549.03	1,364.34
11/02/09	14.21	121.34	134.41	50.36	1226.44	0.15	1546.91	1,363.68

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(9日現物保有は111.26トン)、米ETFセキュリティーズ(9日25.20トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(4日187.12トン)など。

資料:Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/02/03	28.29	26,461,869	10,370.2
11/02/04	28.40	20,918,519	10,370.2
11/02/07	28.66	15,826,486	10,370.2
11/02/08	29.64	23,303,968	10,370.2
11/02/09	29.52	25,273,401	10,370.2

単位:価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料:NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 9日893.66トン、NY 9日504.65トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(4日2,398.64トン)。

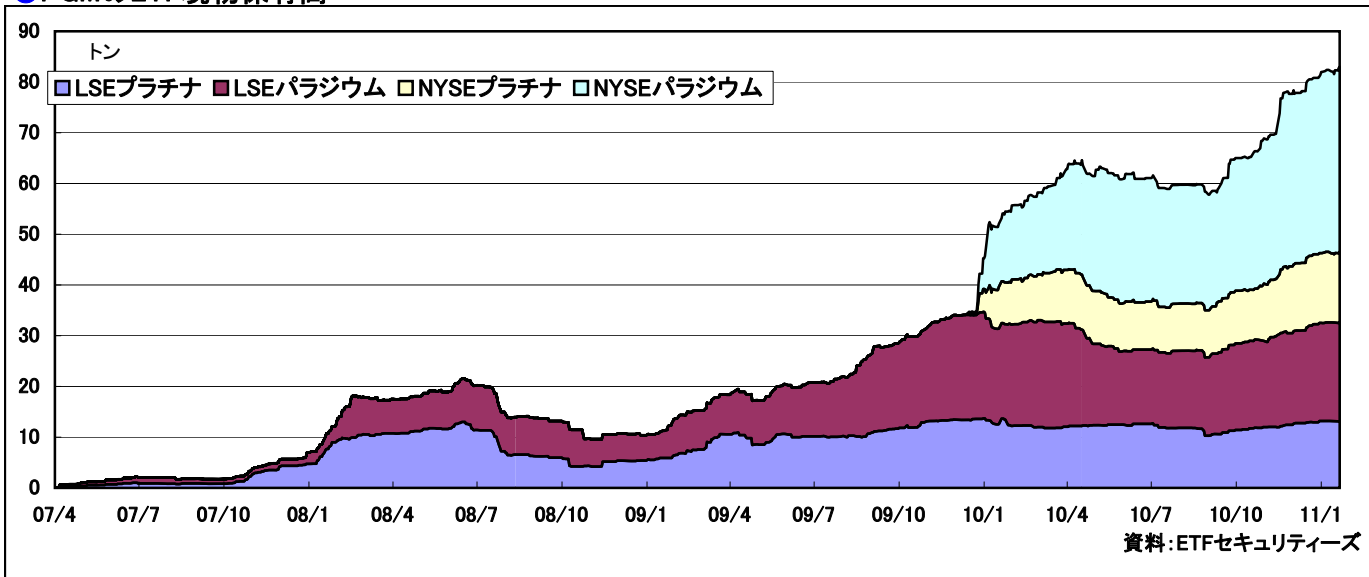
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月10日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

プラチナ・パラジウムETFはロンドン減少、NY増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は9日時点でプラチナが13.12トン、パラジウムが19.38トンとなった。2日からプラチナが0.02トン減、パラジウムは0.04トン減となった。景気回復期待や自動車販売増加などで需要増加が見込まれているが、ポートフォリオ見直しで投資資金が流出しやすくなっている。

LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどをを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は9日時点でそれぞれ14.06トン、36.46トンとなった。2日からプラチナ・パラジウムともに0.62トン増となった。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/02/03	13.14	19.43	921.07	133.18	13.44	35.54
11/02/04	13.14	19.43	921.07	132.63	13.75	36.00
11/02/07	13.13	19.39	901.52	131.69	13.75	36.00
11/02/08	13.13	19.39	901.52	131.66	13.75	36.46
11/02/09	13.12	19.38	893.66	131.24	14.06	36.46

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。4日はそれぞれ10.94トン、14.08トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/2月10日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。